

富谷市が進める「市民の思いを協働でつくるまち！」

◆富谷市の将来像

住みたくなるまち日本一

～100年間ひとが増え続けるまち 村から町へ 町から市へ～



◆富谷市のまちづくりの基本的な考え方

地域の思いを地域のみんで叶える協働のまちづくり(まちづくりの手法)

富谷市総合計画 基本構想(2016年～2025年)

将来像を実現するための基本方針の柱の一つに

「市民の思いを協働でつくるまち」

◆背景

- ・ 地域課題や市民ニーズが多様化、複雑化している
- ・ 少子高齢化により社会を支える仕組みが変わってきた
- ・ 市が十分に財源と職員を確保し、全ての課題やニーズを担っていくことが難しくなってきた
- ・ 男女、世代を問わず市民が様々な分野で活躍している(自主的な活動、市との連携協力など)

「市民協働のまちづくり」について市の取組と考え

◆主な取組(現状)

- ・ 広報や広聴機能の充実
- ・ 計画づくりへの住民参加の推進
- ・ まちづくりの担い手となる人材や団体を育成・支援していくための仕組みづくり
(「公民館」を拠点とした生涯学習、社会教育による地域の人材育成、
「ボランティアセンター」を拠点としたボランティア育成、
「とみぶら」を拠点としたソーシャルビジネス、コミュニティビジネス支援)
- ・ 地域コミュニティ活動の啓発と公益活動や団体への支援
(学びとつながりの場の創出、情報発信、財政支援など)
- ・ まちづくりの基本となるルールづくりの整備検討
⇒ 様々な主体と行政が、共にまちづくりに取り組むための指針となるもの
⇒ 市では市民皆さんの意見を反映しながら令和2年度までに策定したいと考えています



◆市の考え

【市民協働のまちづくり】

多様な主体との
協働

住民自治・
地域共生・共助

= 【市と民(市民等)の協働による市政運営】 + 【住民主体の地域づくり】